

事業名：広野町における未利用資源の探索と資源化 みかんプロジェクト

福島工業高等専門学校 連携市町村：広野町

現地拠点：双葉郡広野町下北迫大谷地原65-3 ニツ沼公園パークギャラリー内 福島高専 地域復興支援室広野オフィス

事業のポイント

本事業の目的は、イノベーション・コースト構想の推進などに貢献できる人材の育成である。この実現のために広野町と連携して、教育と農業の分野で、福島高専の学生、教職員が活動する。互いに経験を重ねることで、人材の育成とその環境の醸成に努めている。

教育：広野町立小学校などで微生物や科学分野の特別授業を実施している。

農業：バナナ栽培に省エネの実施の持続可能性の向上と農産廃棄物の資源化、アップリサイクルに取り組んでいる。

- ・微生物を未利用資源として捉え、広野町内で探索を行い、有用微生物の産業利用まで展開しようと努めている。
- ・施設園芸では、育苗、土壌、省エネルギーを課題とし、環境計測や分析によって適正栽培環境の数値化を進めている。

人材育成目標

- ・福島の復興や地域の問題や課題に科学や技術と地域の関わりを捉え、その解決に必要な提案や取り組みができる人材、それらの取り組みに協力や支援できる人材を育成する。

2024年度の活動内容

- ・児童・生徒向け企画 放課後理科教室(実験教室) 広野小で実施する。ふたば未来学園の生徒を対象にした微生物の特別実習を福島高専で行い、微生物について学ぶ機会を提供する。
- ・有用微生物の利用評価 広野町由来酵母菌を利用した製品化、町民参加イベントの実施
- ・施設園芸農業の支援 バナナ栽培の省エネルギーと再エネ利用の推進(地中熱、太陽熱利用)
- ・廃棄物の資源化(除草の堆肥化の推進、バイオマス添加プラスチックの作製と利用提案)
- ・新たな柑橘類の導入のための試験栽培(転作作物としての柑橘類の栽培)



有用微生物の探索活動と単離した酵母菌

取り組みによって得られる成果

- ・年齢・学校を越えた学びの交流
- ・柑橘類の栽培など新しい試み(産業化) →参加する世代間の交流
- ・施設園芸農業(バナナ、みかん栽培)のノウハウ蓄積と利用、省エネ・再エネ利用の推進
- ・広野由来微生物の産業利用→広野町由来物品の製品化に向けた町内コミュニティの活性化
- ・地域の再発見と新たな評価



バナナの無菌苗と根域保温による育成試験